令和 2 年 1 月 29 日
西日本高速道路株式会社

＜事前のお知らせ＞

E2A 中国自動車道(吹田 JCT～中国池田 IC)でリニューアル工事を実施します
～ 令和 2 年 6 月頃に約 2 週間、終日通行止めによる試行工事を実施 ～

NEXCO 西日本(大阪市北区、代表取締役社長:酒井 和広)では、安全・安心・快適を未来につなげるため、高速道路の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト」に取り組んでおります。

関西都市圏では、令和 2 年度より E2A 中国自動車道(中国道)吹田ジャンクション(JCT)～神戸 JCT 間において、大規模なリニューアル工事を予定しております。＜参考 1＞

このうち、中国道 吹田 JCT～中国池田 IC 間は、1970 年の大阪万博開催にあわせ開通した関西都市圏における創生期の高速道路であり、50 年が経過しております。その後の交通量の大幅な増加・車両の大型化等により、橋梁等の構造物の損傷が進行しております。＜参考 2＞

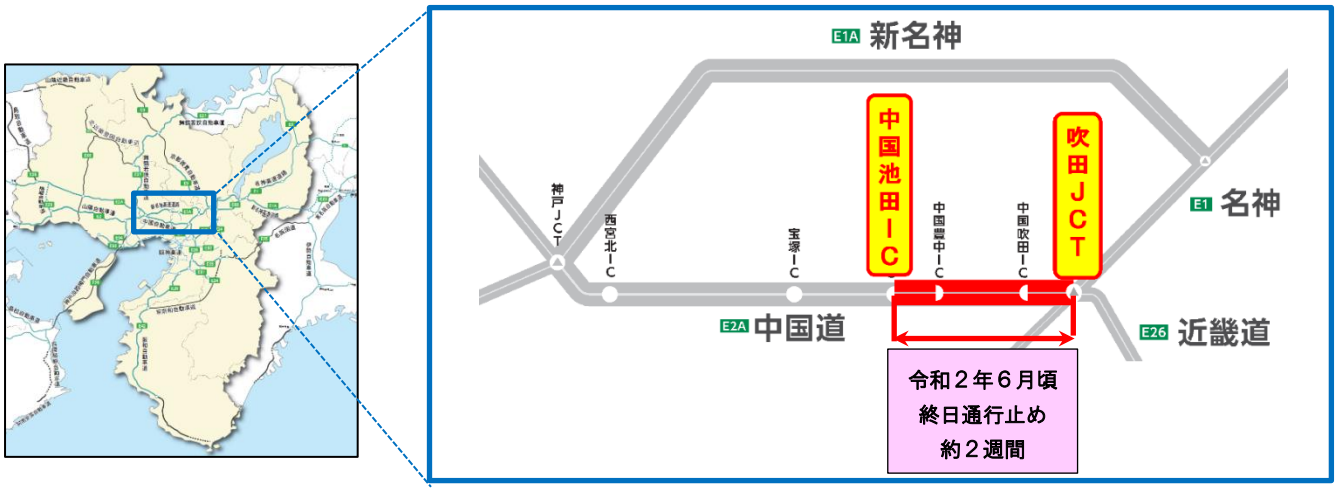
このため、抜本的対策として橋梁床版取替等のリニューアル工事を実施することとし、令和 2 年 6 月頃、約 2 週間の終日通行止めを行い、工事を行うことを計画しています。＜参考 3＞

この工事は試行の位置づけであり、別添のとおり、う回路のご案内・影響最小化の取り組み等を行う予定です。

試行工事による、一般道を含めた交通への影響等については、交通を専門とする有識者が参画する「交通マネジメント検討委員会」等で検証し、リニューアル工事全体の施工および通行規制計画に反映していく予定としております。＜参考 4＞

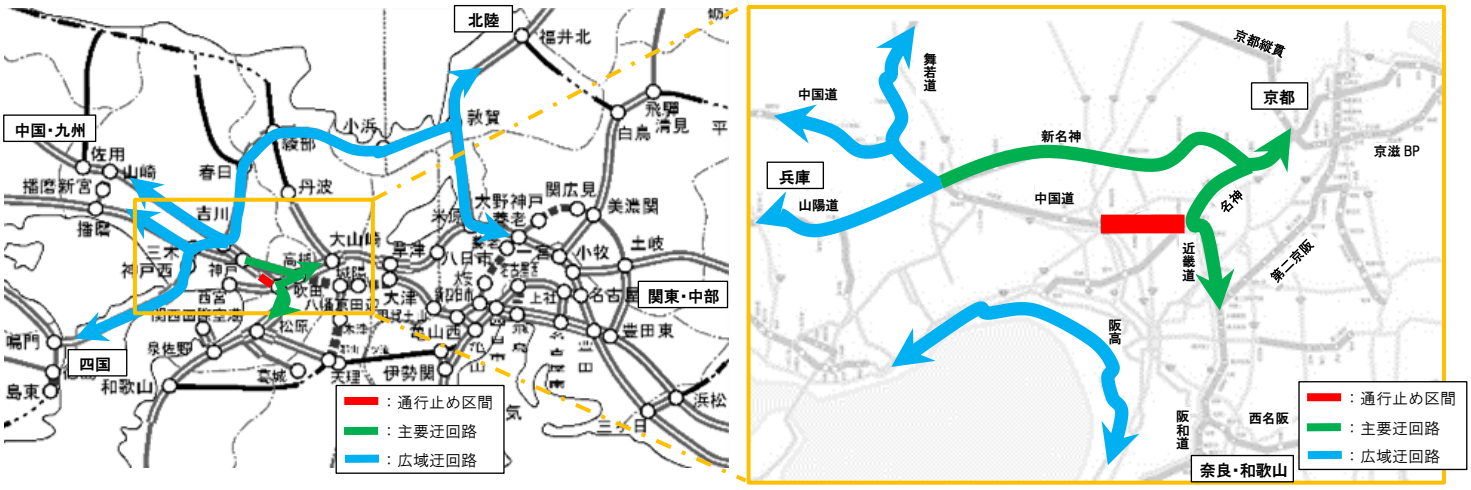
試行工事にともなう規制や工事の詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

工事期間中、高速道路をご利用されるお客さま、沿道にお住まいの皆さま及び関係者の皆さまにはご迷惑、ご不便をおかけいたしますが、皆さまへの影響を最小限とするよう取り組んでまいりますので、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。



（別添）

1. 試行工事実施時のう回路



2. 工事の影響最小化の取り組み

① 工事実施関係

・終日通行止めによる一括架設工法等の採用や複数の施工班の投入による工事期間の短縮

・低騒音型の施工機械の採用等による沿道環境への配慮

② う回ルートへの誘導措置

・新名神高速道路へう回していただいた場合の料金調整および休憩施設で利用可能なクーポンの発行

クーポン：専用アプリに登録し、う回の対象経路をご走行していただいた場合に休憩施設で利用可能な電子クーポンを配信いたします。

・高速道路上での交通情報提供設備の強化（フル LED 化した図形情報板の増設など）

③ 渋滞・混雑状況のリアルタイムな情報提供

・所要時間情報板の増設

・中国道（吹田 JCT～神戸 JCT）リニューアル事業の特設 Web サイトでの、渋滞予測や最新所要時間情報の提供

≪特設 Web サイトの内容≫

・う回ルートのご案内
・渋滞予測・渋滞状況
・料金調整のご案内
・う回ルート検索及びリアルタイム所要時間
・工事の進捗状況

※準備中。適宜追加予定

特設 Web サイト　https://kansai-renewal.com

■NEXCO 西日本のリニューアルプロジェクトの取り組み

・リニューアルプロジェクトとは、これまでの補修方法では十分に高速道路としての機能を回復できない損傷に対して大規模な更新工事等（大規模更新・大規模修繕）を行うことをいいます。

目的：橋やトンネルなどの高速道路本体構造物のライフサイクルコストの最小化、予防保全および性能向上の観点から、必要かつ効果的な対策を講じることにより、高速道路ネットワーク機能を長期に渡って健全に保つことです。

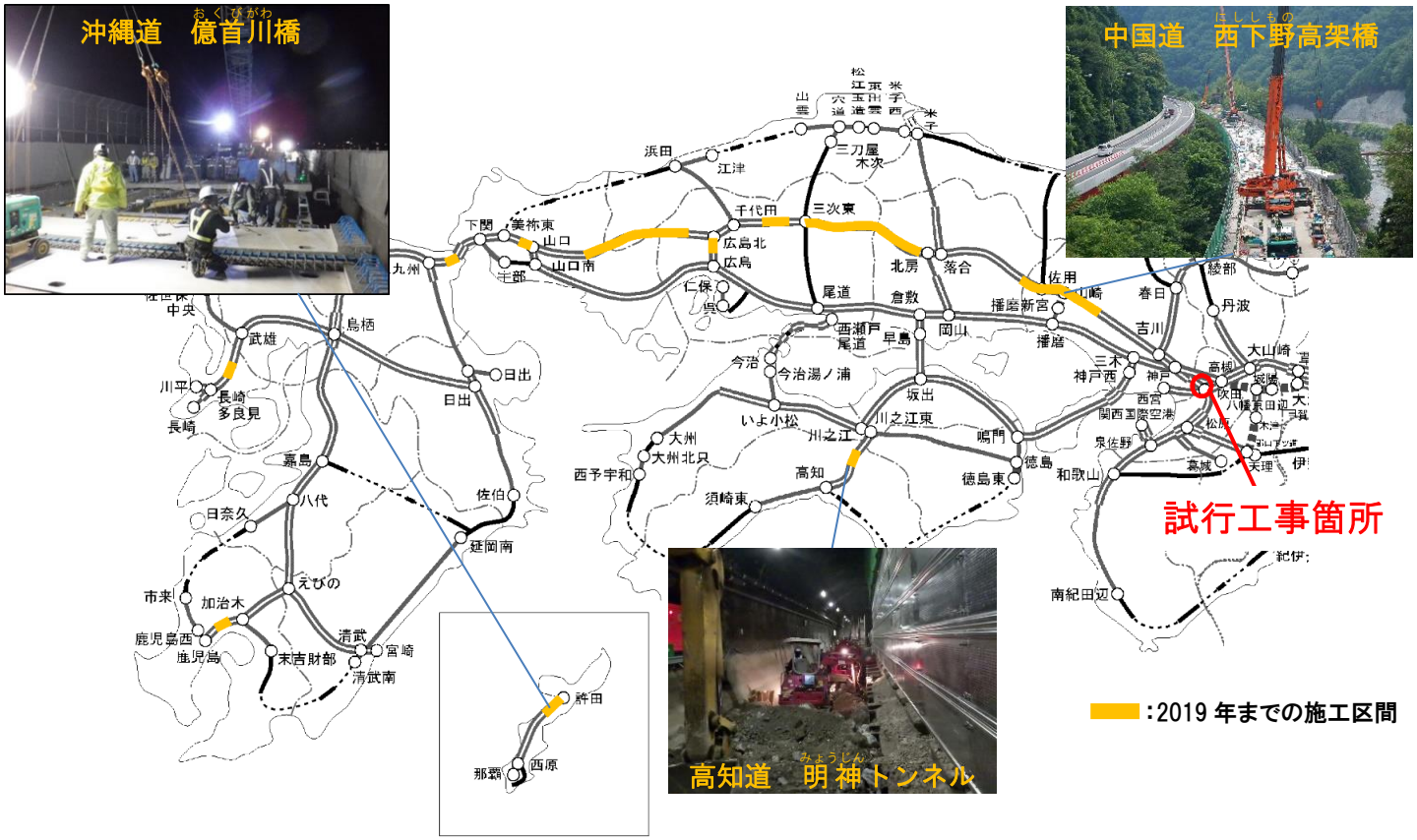
高速道路リニューアルプロジェクト
大規模更新・修繕事業
Renewal

・更新工事は、2015年3月25日に国土交通大臣から事業許可を受け、2016年より地方部の中国道や沖縄道から順次実施しております。

・地方部では交通量が少ないことから主に対面通行規制により工事を実施しておりますが、都市部の工事では、同様な規制方法では工事期間が長くなり、渋滞などの社会的影響が大きくなる場合があります。

・う回路となる高速道路ネットワークや一般道の状況を鑑みて終日通行止め等の様々な規制方法を検討し、高速道路をご利用のお客さまや沿道にお住まいの皆さまへの影響が最小限となるよう努めてまいります。

【2019 年までの橋梁床版取替およびトンネル本体補強の施工区間】

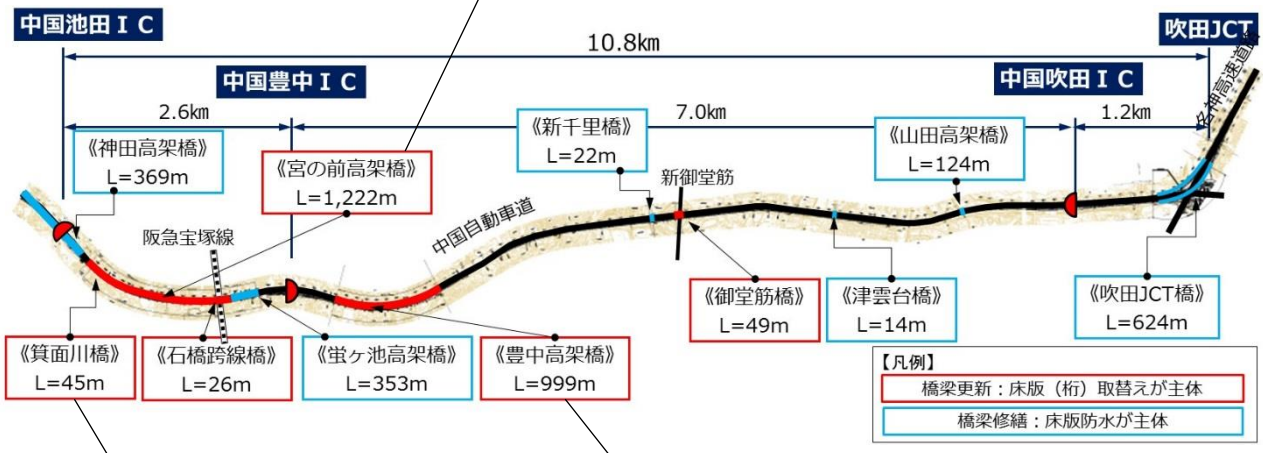


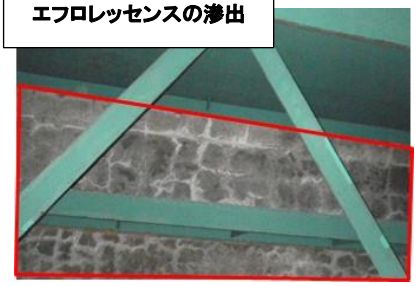
※橋梁床版修繕（防水工等）施工箇所　約 100 箇所

※土構造物の施工箇所　約 600 箇所

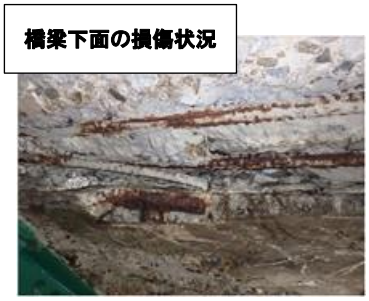
■中国道（吹田 JCT～中国池田 IC）の橋梁等の損傷状況

宮の前高架橋





箕面川橋



豊中高架橋

・これまで橋梁の床版等については、部分的な補修や補強を繰り返してきたものの、路面から橋梁下面まで貫通する亀裂の発生や、被覆するコンクリート剥落による内部鉄筋の露出・腐食など、床版構造本体の耐力に影響する損傷が多く発生する等、劣化の進行が著しいため、取り替え等抜本的な対策が必要となっています。

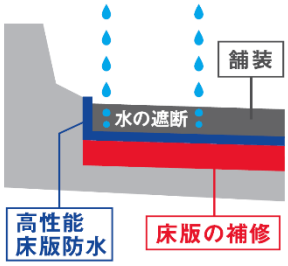
■中国道（吹田 JCT～中国池田 IC）のリニューアル工事の内容

主に老朽化した橋梁等の本体構造物をより高耐久の部材と新たな施工技術で取替える工事を行います。また、本体構造物の部分的な補強を行うことで長寿命化を図ります。

橋梁（床版取替）	損傷した鉄筋コンクリート床版を、より耐久性の高い床版に取り替えます。 （プレストレストコンクリート床版 ： PC鋼材をコンクリートに埋込み緊張力を与え強化する技術）

プレストレストコンクリート床版

橋梁（床版修繕）	損傷を抑制するため、原因となる水が床版にしみ込まないよう高性能床版防水を行います。



高性能床版防水工

これらのリニューアル工事の他、傷んだ舗装路面の修復、老朽化した道路付属物の取り換え、道路維持作業、道路構造物や設備の点検・補修なども併せて実施いたします。

なお、事業期間は概ね 3 年間を予定しております。

＜参考4＞

■交通マネジメント検討委員会

交通を専門とする有識者の意見を伺い、中国道、名神、近畿道等の高速道路および中央環状線等の一般道の交通混雑を最小化するための交通マネジメント施策を検討する委員会。

メンバー（敬称略）

東京工業大学　環境・社会理工学院　教授	朝倉　康夫
京都大学大学院　工学研究所　教授	宇野　伸宏
岐阜大学　工学部　社会基盤工学科　教授	倉内　文孝